

全日本総合女子ソフトボール選手権大会

コロナウイルス感染症で緊急事態宣言が発令され延期になっていた、全日本総合女子ソフトボール選手権が、令和3年11月19日（金）、栃木県黒羽運動公園で開催されました。

小泉病院女子ソフトボール部が発足されてから3年、初めての全国大会出場、みんなが緊張する中、初戦相手に決まったのは、リーグ推薦（愛知県）デンソーブライトペガサス、女子ソフトボール1部リーグで活躍しているチームとあたりました。

対戦相手から1点でも多くと挑んだ初戦。小泉病院先攻で試合開始。

初回1番穂山が死球で出塁しましたが、2番立川の打席中、スイング後捕手が、一塁送球タッチアウトで1アウトランナー無しとなり、続く2・3番も凡退し無得点。1回裏の守備で、3番打者にヒットを許したものの、4番を抑え無得点、流れに乗るかと思われましたが...

2回表に、5番若森のヒット性の当たりをライトがファインプレーで、アウトにし、さすがの守備を見せつけられました。

その裏、5番打者に2塁打を打たれ、その回は打者8人で5得点の大量点を取られ、続く3回にも4得点を奪われてしまいました。小泉病院の攻撃は、相手投手に完璧に抑えられ4回までノーヒット。

4回裏に、原田から玉田に投手交代し、0点に抑えました。大会規定の5回7点差になると、3点とらなければ、コールド負けという状況の中、5回表、

5番若森からの打順。ライト前ヒットでチーム初ヒットとなり、6・7番の進塁打2アウトランナー3塁で、代打日野が四球で後ろにつながりましたが、最後レフトフライでゲームセット。5回コールドで1回戦敗退となりました。

9-0と1部リーグのパワー・スピード・テクニックどれをとっても格の違いを見せつけられました。しかし、自分達らしく相手チームより声を出し、楽しくソフトボールができ、皆様の応援も力となり、大きな大会で1部リーグのチームと対戦できました。この経験を活かし、これからの1日1日の練習を大切にしながら、しっかりとこの冬鍛え直して、また1部リーグのチームと戦えるようにしていきます。

引き続き熱い応援のほど、よろしくお願いいたします。

《対戦相手と一緒に》

☆ 試合結果 ☆

	1	2	3	4	5	計
小泉病院	0	0	0	0	0	0
デンソー	0	5	4	0	×	9

原田一若森（1-3回）

玉田一藤井（4回）

